

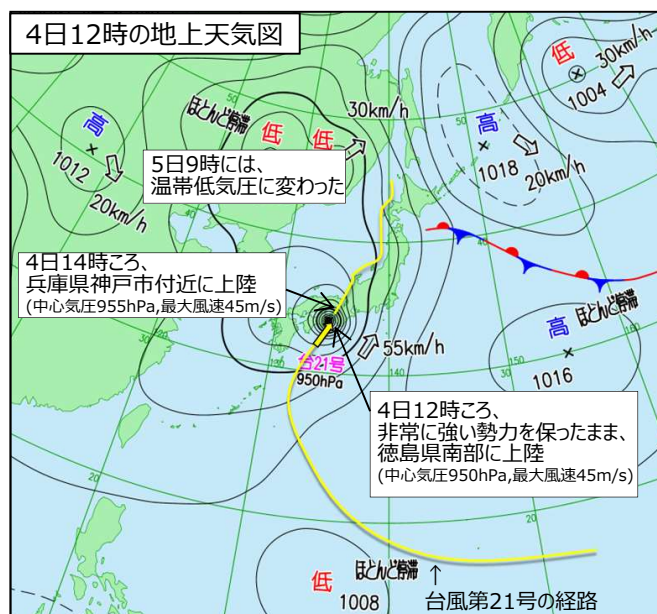
■ 概況

○台風第21号は、4日12時頃、非常に強い勢力で徳島県南部に上陸（中心気圧950hPa、最大風速45m/s）した後、14時頃、神戸市付近に上陸（中心気圧955hPa、最大風速45m/s）し、速度を上げながら近畿地方を縦断した。

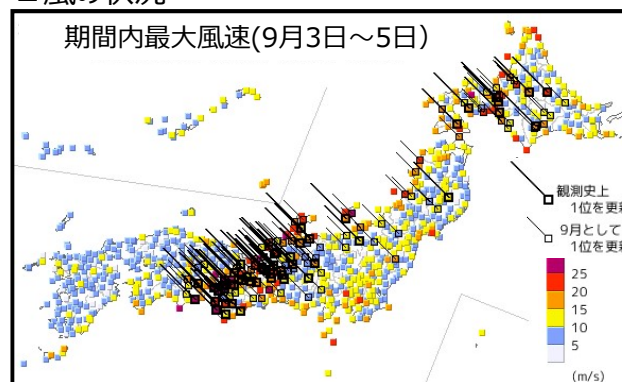
その後、日本海を北上して5日朝には北海道の西海上に達し、9時に温帯低気圧に変わった。

○台風の接近・通過に伴って、西日本から北日本にかけて非常に強い風が吹き、非常に激しい雨が降った。特に、四国や近畿地方では、猛烈な風が吹き、猛烈な雨が降ったほか、これまでの観測記録を更新する記録的な高潮となったところがある。

■ 地上天気図



■ 風の状況

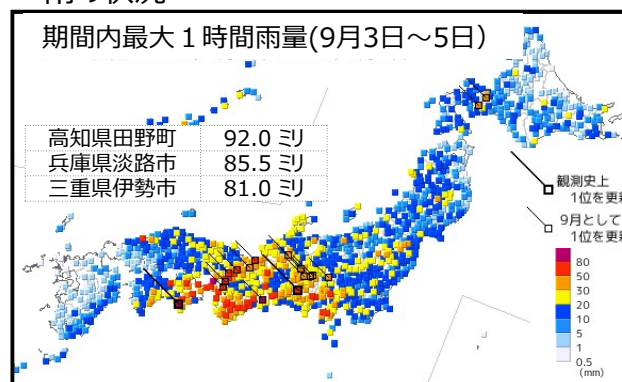


風速 期間内最大値 (9月3日～5日)

	風速(m/s)	瞬間風速(m/s)
高知県室戸市	48.2	55.3
大阪府田尻町(関西空港)	46.5	58.1
和歌山県和歌山市	42.9	57.4
兵庫県神戸市	34.6	45.3
徳島県美波町	34.6	50.3
和歌山県白浜町(南紀白浜空港)	33.4	45.8
愛知県常滑市(中部空港)	31.5	46.3
大阪府熊取町	26.8	51.2

※風速30m/s以上 又は 瞬間風速50m/s 以上を記載

■ 雨の状況



雨量 期間合計値 (9月3日～5日)

	雨量(ミリ)
愛知県豊根村	378.5
静岡県静岡市	359.5
高知県馬路村	328.5
奈良県十津川村	315.0
和歌山県田辺市	302.5

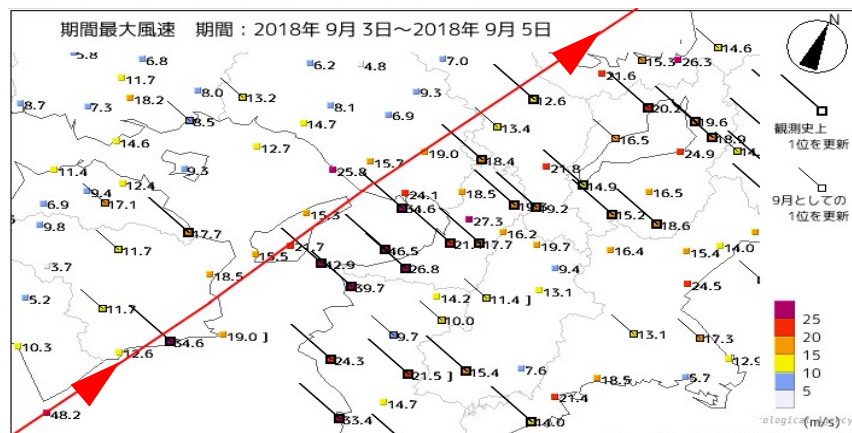
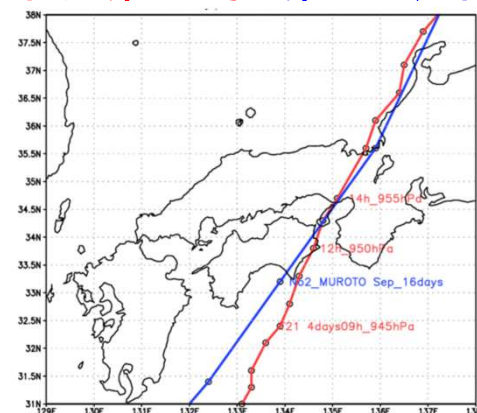
※雨量 300ミリ以上を記載

■ 特徴

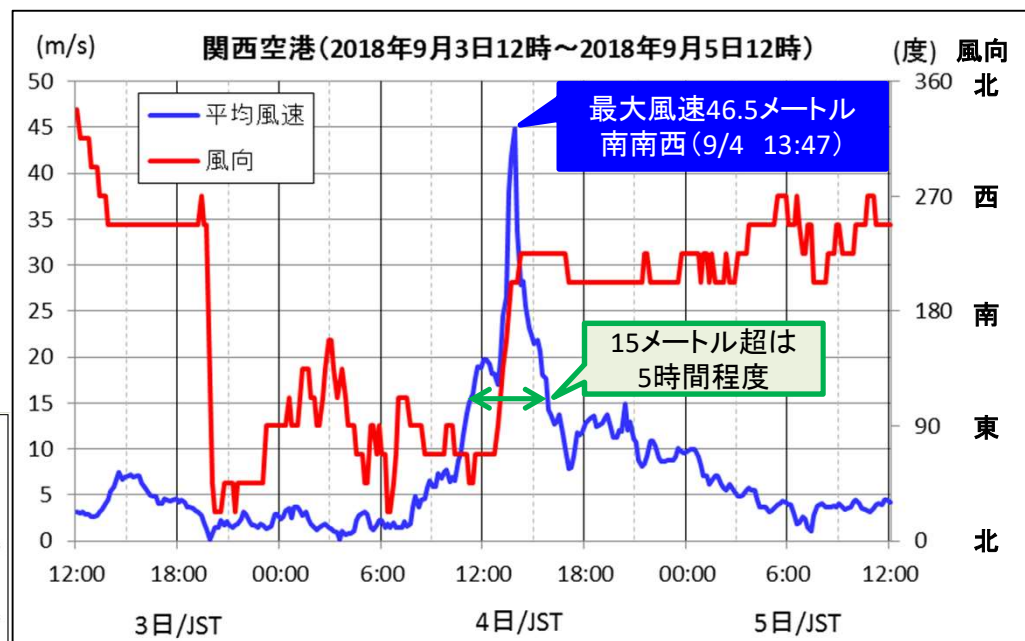
台風第21号接近に伴う現象について、近畿地方では、①非常に強い勢力で接近したこと、②第二室戸台風と酷似した進路だったこと、③時速約55～65キロという比較的速いスピードで通過したこと から、特徴は以下の3つ。

- 台風接近前後で、急激に風が強まったこと。
- 過去の風速の記録を更新した観測所の多くは、台風中心の進行方向右側であったこと。
- 大阪湾を中心に、記録的な高潮となったこと。

台風第21号と第二室戸台風(昭和36年)の進路



関西空港(風向・風速)



台風接近期間の各地の最大風速と台風進路(進行方向: 矢印)

平成30年 台風第21号について

■ 台風第21号により過去の最高潮位を超える値を観測した地点

	最高潮位※1 (標高)	起時	過去の最高潮位※2 (標高)
大阪 (大阪府大阪市)	329センチ	9月4日14時18分	293センチ 昭和36年9月16日 (第二室戸台風)
神戸 (兵庫県神戸市)	233センチ	9月4日14時09分	230センチ 昭和36年9月16日 (第二室戸台風)
御坊 (和歌山県御坊市)	316センチ	9月4日12時48分	163センチ 平成26年8月10日 (台風第11号)
白浜 (和歌山県白浜町)	164センチ	9月4日13時02分	152センチ 平成23年9月2日 (台風第12号)
串本 (和歌山県串本町)	173センチ	9月4日13時20分	161センチ 平成26年10月6日 (台風第18号)
阿波由岐 (徳島県美波町)	203センチ	9月4日12時08分	167センチ 平成26年8月10日 (台風第11号)

※1：波浪等の短周期成分を除いた3分平均値

※2：平滑値 (約3時間平均値)

